

令和 年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	①	学校名	盲学校
----	---	-----	-----

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	学校見学・体験「いくナラ みるナラ 盲学校」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	生徒が自分たちで演奏発表の舞台づくりを行い、能動的に 取組 に参加することで、達成感や自己肯定感を得ること。
連携・協働相手	県民だよりやチラシの配布により、県民へ周知した上で参加を希望した方
地域と共有している目標・課題等	盲学校の存在や教育活動などが地域住民の方々にあまり知られていないため、学校見学会を開催し、盲学校の特色や視覚障害教育活動の取組を知ってもらい、学校に対する理解を深める。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>地域住民をはじめ他の学校の生徒や教職員を迎え、視覚障害者の学習・スポーツ・歩行・点字・音声パソコン・あん摩などを共に体験した。企画立案やそれぞれの講座の進め方などにも生徒が主体的に関わり、理解を深めると共に社会性の向上を目指すことを目標に行った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>学校見学体験会のプログラムの一つとして、音楽クラブの演奏発表を行った。学校見学体験会に参加する地域住民の方々に盲学校を知ってもらうという目標をふまえ、発表する曲目や構成をどうするか生徒たちが主体的に考え、日々熱心に練習に取り組んでいった。生徒全員が力を合わせて演奏発表を作り上げることで、生徒自身の達成感や自己肯定感を高めることができた。</p> <p>また、この経験を通して「もっといろいろな曲を演奏してみたい」という意識が芽生え、自身のできる力を信じて挑戦するという意識付けにつなげることができた。</p> <p>【行事参加者の感想】</p> <p>演奏から楽しさが伝わってきた。できないことに目を向けるのではなく、できるようにするにはどうすれば良いか考えることや、できることを活用する大切さを感じた。</p> <p>視覚障害や盲学校について知らないことがたくさんあったが、今回の体験から多くを学ぶことができ、自分自身の視野も広がった。また盲学校をより知ることができてとても良かった。</p>

